



千葉純子 松下落子 大島路子 海野幹雄 川井綾子  
| ヴァイオリン | | ヴァイオリン | | ヴィオラ | | チェロ | | ピアノ |

# チェンバー・ソロイスト KANAGAWA 2014

[みなとみらい室内楽の夕べ Vol.3]

トゥリーナ：闘牛士の祈り 作品34 (弦楽四重奏)  
L・ヴィアルド：ピアノ四重奏曲 第2番 二長調 作品11 「スペイン風」  
ブラームス：ピアノ五重奏曲 へ短調 作品34

2014.2.13 [木]

| 開演19:00 (開場18:30) |

横浜みなとみらいホール小ホール

| 入場料金 | 全自由席 3,500円 | お問い合わせ | **アウローラ・クラシカル 044-819-5868**

マネジメント：アウローラ・クラシカル 協力：デュオジャパン 後援：神奈川新聞社  
チケット前売り所：横浜みなとみらいホールチケットセンター 045-682-2000 / チケットびあ 0570-02-9999 (Pコード 212-686)







JUNKO CHIBA  
violin



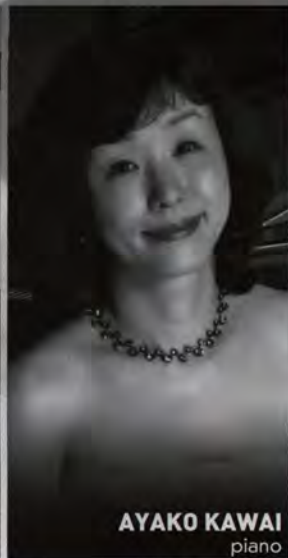
FUKIKO MATSUSHITA  
violin



MICHIKO OSHIMA  
viola



MIKIO UNNO  
cello



AYAKO KAWAI  
piano

## 千葉純子 | ヴァイオリン |

桐朋学園高校、大学を経てジュリアード音楽院に奨学生として留学。在学中にニューヨーク・アーティストインターナショナルコンペティションで優勝、カーネギーリサイタルホールでニューヨークデビュー。ティボール・ヴァルガ国際ヴァイオリン・コンクール入賞、タイペイ国際音楽コンクール最高位、イタリアのキジアーナ音楽院にて名誉ディプロマを受賞、大垣音楽祭で最優秀新人賞受賞、また明治安田生命クオリティオブライフ文化財団助成奨学生となる。これまでにバイヤール室内管弦楽団、プラハ放送交響楽団、プラハ室内管弦楽団、ドイツ・パッパゾリステン、ウィーン・ヴィルトゥオーゾ、タイペイ交響楽団などと共演。またヨーロッパ各地でリサイタルを開く。NHK-FM、BS放送などにも出演。CDは、カメラータ・トウキョウより「レスピーギ：ヴァイオリン・ソナタ」、「シューマン：ヴァイオリン・ソナタ」、アウローラ・クラシカルより「メンデルスゾーン：ヴァイオリン・ソナタ」、「モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲全集」、「テンポ・ディ・メヌエット〜ヴァイオリン名曲集」、またビクターより「ヴァイオリン名曲の花束」をリリース。現在、ソロ、室内楽のほか、紀尾井シンフォニエッタ東京、ヴィルトゥオーゾ横浜のメンバーとして、また主要オーケストラのゲストコンサートマスターを務めるなど、幅広く活躍している。山梨学院大学附属小学校特別講師、フェリス女学院大学音楽学部、洗足学園音楽大学及び附属音楽教室講師。

## 松下路子 | ヴァイオリン |

東京藝術大学附属音楽高等学校を経て、同大学卒業。在学中よりパリ国立高等音楽院に留学し、現在3年目在学中。パリ管弦楽団のオーディションに合格し、2013年秋よりアカデミー生として参加している。神奈川トヨタ主催フレッシュコンサート、新しい風コンサート(山手ゲート座)、ニュー・アーティストシリーズ ジョイントリサイタル(代々木上原ムジカーザ)、横浜そごう美術館ソロ・サロンコンサートなど、各種コンサートに出演。また、「ユネスコ平和祈念チャリティー」藝高オーケストラ・パリ公演、東日本大震災のためのチャリティーコンサート(パリにて)に参加。現在日本で、NPO法人と組んで子供たちのための演奏会活動(アウトリーチ)を開始するなど、演奏を通じて社会活動へ積極的に参加している。韓国、イタリア、フランスなど海外の音楽祭、また、カナダでは奨学金を受けてOrford Music Academyに参加した。これまでに、山内祐子、奥村智洋、千葉純子、若林暢、原田幸一郎、漆原朝子各氏に師事。パリ国立高等音楽院にてミカエル・エンツ氏に師事している。現在、パリ国立高等音楽院に通学しながら、主に、東京、パリを拠点に、各種音楽活動を展開している。

## 大島路子 | ヴィオラ |

桐朋学園大学を卒業後、イーストマン音楽院にてパフォーマンス・サーティファイケイトを受賞。ニューヨークのカサット弦楽四重奏団のメンバーとして14年にわたり活動し、ベートーヴェンのクアルテット全曲演奏、アメリカの現代作品を中心に17枚のCDを録音。また大学のレジデント・アーティストとしてパッファロー、シラキュース、フィラデルフィアなどで音楽学部や他学部での演奏、地域活動などを行った。現在は東京に拠点を移し室内楽を中心に活動。2001年よりエイビーチェンバーミュージック代表としてアマチュア奏者を対象とした室内楽ワークショップを年二回開催。また、2013年度カワイサウンド音楽振興財団の助成を受け、川崎市内で20世紀音楽を中心とした子供プログラムを企画している。カントゥス・クアルテット、ヴィルトゥオーゾ横浜のメンバー。

## 海野幹雄 | チェロ |

音楽一家に生まれ(父は元N響コンサートマスター海野義雄、母は元都響首席チェリスト海野ユキ恵)、14歳より母にチェロの手ほどきをうける。桐朋女子高等学校音楽科(共学)を経て、桐朋学園大学アンサンブルディプロマコース修了。その後、洗足学園大学ソリストコースにおいて更に研鑽を積む。これまでに、第20回霧島国際音楽祭特別奨励賞、第14回川崎市音楽賞コンクール最優秀賞、第7回おきでんシュガーホール新人演奏会オーディション入選、第12回全日本ソリストコンテストグランプリ等、数々の賞を受賞。在学中よりNHK交響楽団にエキストラ奏者として度々参加。東京フィルハーモニー交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、山形交響楽団等に首席チェロ奏者として客演している。ジャパン・ヴィルトゥオーゾ・シンフォニー・オーケストラや紀尾井シンフォニエッタ東京等にも度々参加。2008年、日本演奏連盟主催により東京文化会館にてデビューリサイタルを行う。2009年には東急ケーブルテレビ「イツコム」に於いて3度目となるテレビリサイタルを開催。また同年より毎年、銀座王子ホールにてリサイタルを開催し、好評を得ている。2009年5月より月一回のペースで「Salon de violoncello」と題し、横浜市イギリス館においてサロンコンサートシリーズを行い、2012年7月現在既に30回を数え、好評を得ている。また(財)地域創造主催事業「公共ホール音楽活性化事業(おんかつ)」登録アーティストとしても活躍の場を広げ、指揮・編曲・出版の分野でも活動、現代音楽の演奏にも定評がある。映画「おくりびと」では12人のチェリストの一人としてサウンドトラックのレコーディングに参加した。これまでにチェロを倉田澄子、堤剛、木越洋、山崎伸子、ルートヴィヒ・クヴァントの各氏に師事。トウキョウ・モーツァルト・プレイヤーズ、スーパー・チェロ・アンサンブル・トウキョウ、東京フィロスケアルテット、室内オーケストラARCUS(アルクス)、アンサンブルデュナミスメンバー。NPO法人「ハマのJACK」理事。2012年10月には、1stアルバム「海野幹雄 plays Schumann」をリリース。

## 川井綾子 | ピアノ |

4歳よりピアノを始める。桐朋女子高等学校音楽科在学中、第40回全日本学生音楽コンクール(毎日新聞社主催)高校の部全国第1位、日本放送協会賞を受賞。桐朋学園大学を卒業後、渡仏。パリ・エコールノルマル音楽院の最高演奏家課程を首席で卒業。サレルノ(イタリア)、マリア・カナルス(スペイン)、カントゥー(イタリア)などの国際ピアノコンクールで最高位入賞、エリザベート王妃国際ピアノコンクール(ベルギー)セミファイナリスト。パリ・ショパン協会主催「フェスティバル・ショパン」や「ヴァル・ディゼール音楽祭」出演など、フランス、イタリア、ベルギー、ポルトガルでもリサイタル、コンチェルトを行う。2000年に帰国後、新星日本交響楽団、九州交響楽団、大阪センチュリー交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団と共演。園田高弘推薦の「句のピアニストシリーズ」の第1回演奏者、横浜市招待国際ピアノ演奏会、NHK-FM「名曲リサイタル」、ショパン協会例会リサイタルなどに出演。自治省の外郭団体、(財)地域創造の主催する「公共ホール活性化事業」やスタインウェイ・ジャパンによる「Young Virtuoso Series」の登録アーティストとして、またPTNA(日本ピアノ指導者協会)の審査員、アドヴァイザーとして各地でコンサート、レクチャー、レッスンなどで活躍。CD「Fantasy」、「ウィーンをめぐる物語」はレコード芸術誌において共に準特選を得る。現在 フェリス女学院大学音楽学部、愛知県立芸術大学講師。